

第3次徳島市環境基本計画、
地球温暖化対策推進計画策定のための市民会議

第4回会議 議事要旨

令和2年9月29日（火）午前9時30分～11時30分

徳島市役所13階 大会議室

1. 開会

<委員自己紹介>

令和2年度より新たに委員に就任した委員より自己紹介（環境保全に関するこれまでの活動歴など）が行われた。

2. 議事

事務局

<事務局より資料説明>

1. 望ましい環境の将来像

<質問・意見>

副会長

今までの「望ましい環境の将来像」には「つなぐ」というキーワードが入っていましたが、今回外したのには何か理由があるのでしょうか。

事務局

今回の資料で挙げている4つは例であり、この市民会議でみなさんから「こんなキーワードがいいのではないか」という意見をいただけたらと思います。

委員

私は「環境共生都市」というキーワードがよいと思いました。

委員

徳島市として目指す環境像というのは、環境とともに生きることが大切だと思います。環境と共生するために、環境を守っていくという方針が、「環境共生都市」という言葉に表現されていると思いました。

委員

今後の徳島市の将来を見据えた副題にすべきだと思います。また、目指す環境像を見て、徳島市をイメージできることが重要ではないかと思います。市民アンケートの結果から、「水」と「緑」が徳島市のイメージということなので、そういった表現も入れた方がよいと思います。

委員

徳島市は豊かな水に囲まれた都市ではありますが、緑は若干、点在していると思います。緑も水と同じように、ビオトープとしてのつながりを持たせていくようなイメージで、「緑で守る 豊かな水と緑のつながる環境共生都市 とくしま」を提案します。

委員 市の周辺部は緑が多いけれども、住宅地などは緑が少ないため、空き地に緑を増やす等の施策をしていけばいいと思います。

それと、一人ひとりが気を付けることが大事だと思います。ごみの分別は、徳島市は7分別しかありませんが、上勝などは36分別です。徳島市ももっと分別を細かくすれば、それが「環境共生都市」につながっていくと思います。

委員 県庁所在地で山などの自然が残っているところはなかなかないと思うので、「水」と「緑」を謳うのはいいかと思います。「緑が中心地にしかない」という意見がありましたが、あえてキーワードに掲げることで、目標達成の気運が高まると思います。また、「あなた」などの一人称で呼びかけるようなワードを入れるのも、受け手が主体的に行動できるきっかけになると思います。

委員 徳島市は水と緑に恵まれていますので、「豊かな水と緑を守りつづける環境共生都市 とくしま」といったような表現がよいかと思います。

委員 「環境共生都市」という言葉は、市民にとっては分かりにくいと思います。市民の具体的な行動につながるようなワードを副題に入れることが必要だと思います。

委員 「水」と「緑」というキーワードは、徳島市の特徴を表すものだと思います。気になったのは、この計画でどこに一步踏み込んでいくのかということところです。

オブザーバー 水と緑はいいところもありますが、悪い面もあります。四国三郎と呼ばれるように、吉野川は暴れ川ですし、緑は土砂災害もあります。やはり、「安全」や「安心」、あるいは事務局案にあります「やさしい」というような、人にとっても住みやすい環境がイメージできるようなものがいいかと思います。

会長 10年で目指す徳島市の環境像が大きく変わりませんが課題は変わるので、主題は大きく変えずに、副題でこの10年間で取り組むべき課題を表したらいいと思います。この10年はSDGsの取組みやコロナ、災害等の問題もありますので、「安心」、「安全」といったワードも入ってくると思います。

事務局 <事務局より資料説明>

2. 基本目標及び基本施策の展開
3. 推進方法（推進体制、進行管理）

<質問・意見>

委員 資料9ページ、基本目標3の「快適で安らぎのある、自然と人が共生できるまち」の指標が「市域における絶滅の危険性がある種の数」となっていますが、絶滅危惧

種の指定を外すというのは非常に難しいです。なので、市民と協働し、管理者の了解を得て進めていくような指標。例えば、ビオトープを市民、またはその場所の管理者と協働で共生活動を行うような指標に変えた方がいいと思います。

もう1点。眉山周辺にイノシシやサルがしょっちゅう出没して、市民の方のトラブルになっていますので、「イノシシ・サルの適正な頭数管理」という施策も入れるべきかと思っています。

もう1点。13ページにあります「4-(3)安心できるごみ処理体制の確保」の指標が「不法投棄通報件数」になっていますが、不法投棄をする箇所を指標にすればいいと思います。環境保全団体等と協力して不法投棄される場所を減らす、捨てさせないような体制を作る。そういうところまで踏み込んでいただきたいと思います。

会 長

10年ほど前に、各学校にビオトープを作ろうということでしたが、最近はそういう動きがなくなってしまい、環境保全活動自体が低調気味だと感じています。そういった活動を支援していく体制を施策として持っていただきたい。不法投棄についても、関係機関との連携を具体的に施策として展開してほしいと思います。

委 員

資料1ページの「現在の状況」にコロナウイルスについての記載がありますが、ウイルス感染症対策が施策に含まれているのでしょうか。こういった感染症対策についてまで触れるのか触れないのか、環境として捉えるのかという意味決定が必要ではないかと思っています。

2点目は10ページ「里地・里山の保全、創造」の指標が「森林及び耕作地面積」となっています。これは増やすのがいいのかどうなのか。耕作放棄地が非常に増えている中で、少し疑問を感じます。また、「一人当たりの都市公園面積」についても、都市公園の面積が増えていなくても人口が減っているので、絶対的な「都市公園の面積」と表した方がいいと思います。

事 務 局

都市公園面積、森林及び耕作地面積については、担当課と協議をしたいと思います。また、徳島市総合ビジョンの中で、すでに議論が進んでいる部分もあるかと思っていますので、そういったところも踏まえながら、進めていきます。

コロナウイルス対策につきましては、適応策につながってくるかと思っています。気候変動により病原菌の拡がりにつながる。それに対する対応ということで施策として含めるべきではないか、ということで、今回の計画の中に入れていきます。

会 長

「森林及び土地耕作面積」は、「質的にどうか」ということを考えなければいけ

ないと思います。耕作地面積も都市公園面積も、徳島市の違う部署で議論されていると思いますので、指標としてこの計画で挙げるのがよいのかという問題もあります。

コロナについては、今日も扉を開けながらエアコンをかけている等、去年まででは考えられないようなことをしています。明らかにコロナによって生活様式が変わり、環境問題として関わってきているので、そのあたりを整理したらいいと思います。

委員

資料3ページの基本目標1-(3)、「気候変動に強いまちづくり」についてですが、具体的にはどのような施策を考えているのでしょうか。

また、基本目標5の環境学習について、「環境学習参加者の割合」が指標として挙げてありますが、6.5%と少し低いように思います。具体的にどのように推進していくのでしょうか。

事務局

「気候変動につよまちづくり」の具体的施策については、「自然災害対策」としては「水害予防対策の推進」。市の取組み例としては「河川改修事業」「危険区域の巡視」「洪水時における避難対策等の普及啓発」を挙げております。また、「都市防災化の推進」は、「防災空間の整備推進」「市街地の整備」「ライフラインの整備」を施策として例示しております。

それから、環境教育については、徳島市役所全体で、環境に関する講義をしている課の数字をすべて拾い集めて割合を挙げております。

会長

自然災害対策については、適応策ということになります。自然災害が起こると避難所に行く。その時に、避難所での廃棄物の問題がある。災害ごみについては環境保全に関わってくるので、そういったものもイメージした方がいいと思います。

また、環境保全の役割の一つは有害なものに対する規制と、それともう一つは環境学習、啓発だと思います。規制の方は、徳島市では比較的達成していると思いますが、学習、啓発の指標が6.5%でいいのかということだと思います。そういう目標を強く出すというのが徳島市の特徴になると思います。

オブザーバー

現状値や目標値を和暦で書かれていますが、西暦表記はしないのでしょうか。

あと、SDGsのつながりについて、基本目標の横に、この目標は、SDGsのどの目標を達成するものかを分かるようにした方がいいと思います。

また、3ページの基本目標4ですけれども、徳島市は昨年、食品ロス全国大会とい

う大きなイベントもありましたし、食品ロス削減推進法という大きな法律の改正もありましたので、食品ロスを大きく取り上げてもいいと思います。

委員

基本目標1-(3)「気候変動につよいまちづくり」の取組みの中に、事業者との災害協定のようなものを入れたらいいと思います。災害があったときに、自治体だけではなく、事業者のみなさんと協力することになると思いますが、そのあたりの施策は含まれているのでしょうか。

また、食品ロスに対する事業者の取組みの項目が少ないと思います。例えば国の施策にあるフードバンクへの支援であるとか、子ども食堂との連携など。あとは防災、備蓄と食品ロスを考えて施策というのもご検討いただければと思います。

事務局

食品ロスについては福祉関係の課で計画を持っていますので、担当課と協議しながら、素案の段階でみなさまにお示しできたらと思います。

防災については、第2次環境基本計画に防災についての記載はありませんでしたが、今回は防災について施策を展開しますので、防災関係の課と協議をしながら進めていきます。

会長

総合ビジョン策定会議では環境について話をする時間はあまりないと思うので、そこで議論されたことを持ち帰ってくるのではなくて、こちらから押し出していかないといけないと思います。

委員

SDGsについて、市民の認識度がわからないので、丁寧な説明を付けた方がいいと思います。

また、16ページの「環境保全活動の推進」の事業者の取組みの中に「環境マネジメントシステムを導入し、環境保全活動を実施する」とあります。ISOなどは事業所内での話になってきますので、これを「SDGsの活動推進に取り組む事業者数」などの指標にしたらいいと思います。

会長

SDGsの認知度については非常に重要な話題で、日本は非常に低く、世界の話になっています。認知度等を指標とするというのは大事だと思います。

委員

最初に協議した「望ましい環境の将来像」の中に「水」と「緑」というキーワードが出てきましたが、基本目標1から4まで見ても、「水」というワードが入っていない。せっかく「自然と人が共生できるまち」と謳っているのに、ここに「水」を入れた方がいいと思います。「水とのふれあい」は干潟や水生生物の観察等、いろいろあると思いますが、共生とは言えないようなことが、別の部局で決まっていた

りします。水の楽しい部分、危険な部分の経験や学習ができる機会をもっと増やしてこそ共生だと思います。

会長 「水とのふれあい」をもっと教育の中に取り入れていくことが大事だと思います。森の中で子どもたちを自由に遊ばせる、「森のようちえん」という取組みが世界的に広がっているのです、そういう言葉があってもいいと思います。先ほどの意見で、「共生」とは何か、ということを言われました。「これが環境共生している人々の姿だ」というイメージをみんなで共有したいと思いますので、宿題にはなりますが、事務局から提案いただければと思います。

委員 消費者協会ではエシカル消費に取り組んでいます。教育の中では、食べられない子どもたちもたくさんいるのだから、あなたたちはすべておいしくいただきましょう、「残さず食べる子 元気な子」というフレーズを作って、啓発活動をしています。

会長 「エシカル教育」をキーワードとして入れてもいいと思います。食品ロスなどは直接関わってくるし、気候変動の緩和策にも関わってきます。

委員 2016年に「ワンヘルス」という考え方が出てきました。これは、ヒトや野生動物やペットなどの動物と、環境は一体的なものだということで、環境を守っていくことによって幸せな生活が創っていけるという考えです。日本では2018年、日本医師会と日本獣医師会が技術の提携をして、情報交換してお互いに協力しています。我々が生活する水や緑の環境、毎日吸っている空気などは健康に関わる。充実した生活に非常に関係しているのではないかと、思っています。

会長 「環境共生」とはどういう社会なのかというのは、野生動物との関係も含めて「共生」という言葉を使っています。そのイメージをみんなで共有できるようになればいいと思います。

委員 基本目標4-(1)、「ごみの減量、リサイクル」で指標が挙げられていますが、市民のがんばり度が分かる指標の方が市民に響くと思います。

事務局 この部分だけでなく、すべての部分に共通して言えることだと思います。指標や施策に関しては、現在は例示という形で示していますが、担当課と施策、市民の取組みを協議いたしまして、市民のがんばり度を的確に表現できる指標を検討します。

会長 徳島市はごみの排出量が多く、リサイクル率が低いですが、その原因を見つけて、具体的な取組みの提示があれば、市民としては行動できると思います。同じように、

水質汚濁についても、現状値に「達成している」とあります。冷田川等が放置されていて、それで達成していると言えるのかどうかと疑問が多いし、もっと丁寧に市民に対して説明しないと、「これでいいんだ」と思ってしまう。啓発、学習を進めるにあたって、そこはきちんとしていかなければいけないと思いました。

委員

具体的に、市民目線で分かりやすい計画にしてもらいたいと思います。

副会長

前回協議した基本目標1の資料のフォーマットと、今回の基本目標2から5までの資料のフォーマットが違った形になっています。全体としては、フォーマットは揃えるのか、それとも基本目標1と基本目標2以降は違うフォーマットになるのでしょうか。

事務局

基本目標1だけが飛び出したような形ではなく、素案の段階では同じ形式で、揃えます。

会長

計画に使う写真でいいものがあれば提供していただければと思います。また、18ページに絵がありますが、これが環境基本計画が目指す環境共生像です。みなさんが活動されている内容をこの絵の中に入れ込んで、「環境共生社会はこういう社会だろう」というご意見を事務局までご提案いただければと思います。

また、19ページの推進体制のところですが、調整会議等が、本当に実効性があるのかどうか疑問に思っています。例えば、「イ 環境保全活動に取り組む市民、市民団体等との交流」の中に、「情報交換の場を提供します」とあります。これは具体的な施策になっているので、施策のどこに書かれているのかなと思いました。それと、「能動的に行動することができるよう働きかけを行います」とありますが、どういう働きかけなのだろうか。具体的に施策に落とし込んでいただきたいと思っています。

時間になりました。みなさん、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

事務局

本日の第4回市民会議は以上で終了させていただきます。市民の方に手に取って見てもらうため、分かりやすい図や絵があったらいいと考えていますので、掲載可能な写真等ございましたらご協力いただければと思います。

3. 閉会